

令和7年度版『小学どくとく3 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

2024年4月

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。「学習月」欄の「■」のところです。
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主観名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	どとくで学習すること どとくではこんな学び方をしよう どとくの学習をもっと広げよう	-	教材に示された文章をもとに、自分で考えたり、友達と考えを交流したりする活動とおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話とおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができるか。 *自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて考えることができるか。	-
4月③	1 あなたならできる 「自分でできることをふやす」 【A 節度、節制】	1	はるかが毎日作戦を実行することができたことについて話し合うこととおして、自分でできることを考えて行動することのよさや難しさに対する考えを深め、自分でできることは自分でしようとする判断力を育てる。	1. 自分でできることについて考える。 ○自分でできることは、自分でしていますか。 2. 『あなたならできる』を読んで、自分でできることを増やすことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○はるかは、どのようなことを思っていたらいいのでしょうか。 ★はるかは、忘れ物をしなくなりました。はるかはどのようなことを考えながら、毎日一つ一つの作戦を実行していたのでしょうか。発表しましょう。 3. 自分でできることを増やすことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分でできることが増えると、どのようないいことがあるでしょう。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○自分がはるかだったら、どのような「わすれ物ゼロ作戦」を考えますか。	【多面的・多角的に考える】 *自分でできることを考えて行動することのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *主体性のある行動の大切さを理解し、自分から生活を整えて自律して行動することについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、学級活動
	2 気持ちのいいあいさつ 「心をこめて」 【B 礼儀】	1	気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて考えたり、話し合ったりすることとおして、礼儀の大切さに気づき、すすんで気持ちのいい挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 挨拶について考える。 ○元気に挨拶すると気持ちがいいと思っことはありますか。 2. 『気持ちのいいあいさつ』を読んで、礼儀の大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」の挨拶と、りょう君の挨拶は、それぞれどのようなところがいいと思いますか。考えを発表しましょう。 ★気持ちのいい挨拶がどういものかわかった「わたし」は、登校してくるみんなにどのような挨拶をしたでしょう。 3. 真心を態度で示すことについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○すがすがしい気持ちになれる挨拶とは、どのような挨拶のことだと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *真心を態度で示すとはなにかについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、学級活動、挨拶運動
	3 貝がら 「友達とわいわいし合う」 【B 友情、信頼】	1	「ぼく」と中山君の関係について話し合うこととおして、友達のよさを発見し理解することのよさに気づき、友達と理解し合い、仲よくしようとする心情を育てる。	1. 友達と理解し合うことについて考える。 ○友達と、どのようにして仲よくなりましたか。仲よくなるために大切なことはなんですか。 2. 『貝がら』を読んで、友達と理解し合うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○いつも黙っていた中山君が、貝がらを持ってきてくれて、「ぼく」はどう思ったでしょう。考えて話し合います。 ★「ぼく」が、今度こそ、中山君と仲よになれると思ったのはどうしてでしょう。 3. 友達と理解し合うことの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○友達と仲よくなるために大切なことはなんですか。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友達と理解し合うことの大切さに気づき、友達のよさを発見し理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達と理解し合い仲よくすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	図画工作

学習月	教材名 「主観名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
5月③	ユニット：日本のよさ 世界のよさ					
	4 ふろしき 「つたえられてきた文化」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	古くから伝えられてきた風呂敷のよさについて学ぶこととおして、わが国や郷土の伝統と文化への理解を深め、それらを大切にしようとする心情を育てる。	1. 伝えられてきた文化について考える。 ○風呂敷という、魔法の布のことはありますか。 2. 『ふろしき』を読んで、わが国の伝統と文化に親しむことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」は、風呂敷のどのようなところが好きになったのでしょうか。 ★風呂敷が、今も日本の文化として伝わっているのはどうしてでしょう。 3. わが国の伝統と文化について確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○日本や地域の文化として伝わっているものについて、話し合います。また、それらの中で、大切にしていきたいものを発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *わが国の伝統と文化のよさに気づき、国や郷土を愛することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *わが国や郷土の伝統と文化に関心をもち、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができていますか。	生活、伝統文化教育
	5 ライラックのさく庭で 「ほかの国の人たちともなかよく」 【C 国際理解、国際親善】	1	「わたし」とリラちゃんとの交流について考えることとおして、他国の人や文化に親しむことの大切さに気づき、他国の文化を理解し親しもうとする心情を育てる。	1. 他国のの人たちと仲よくすることについて考える。 ○外国の文化で、知っているものはありますか。 2. 『ライラックのさく庭で』を読んで、他国のの人たちとも仲よくすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○リラちゃんが話しかけてきたとき、逃げたことを「わたし」はどう思っていたのでしょうか。 ★リラちゃんは、どんな思いで「わたし」にライラックの花束をくれたのでしょうか。 3. 他国の人や文化に親しむことについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「わたし」とリラちゃんは、これからどのような友達になれるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他国の人や文化に親しむことの大切さに気づき、自国の文化との共通点や相違点について、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *他国の人や文化に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	外国語活動、国際理解教育
【コラム】 フランスってどんな国？	—	『ふろしき』や『ライラックのさく庭で』で学習したことを踏まえて、他国の文化に親しむことのよさを知ること、わが国の文化に親しみをもつとともに、わが国の文化を伝えていくことの大切さに気づかせる。	社会			
6月④	ユニット：じょうほうと向き合う					
	6 ヒキガエルとロバ 「命あるものを大切に」 【D 生命の尊さ】	1	ロバの行動を見たアドルフたちの気持ちについて話し合うこととおして、命の尊さに対する考えを深め、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	1. 命の大切さについて考える。 ○動物や植物を見て、すごいなあと思ったことはありますか。 2. 『ヒキガエルとロバ』を読んで、命あるものを大切にすることの重要性について考える。 【考えよう】 ○アドルフたちはどのような気持ちで、ヒキガエルに石を投げつけていたのでしょうか。 ★ロバによってヒキガエルが助かったのを見て、アドルフたちはどのような思いになったのでしょうか。考えて話し合います。 3. 命あるものを大切にすることの重要性について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○ロバの行動からどのようなことを学びましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *命の尊さに対する考えを深め、命を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *命の大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	理科
	7 新聞係 「きまりを守ることの意味」 【C 規則の尊重】 【問題解決】	1	新聞作りのきまりについて話し合うこととおして、きまりを守ることの大切さに対する考えを深め、きまりを大切にしようとする判断力を育てる。	1. きまりを守るの意味について考える。 ○どうしてきまりを守ることが大切なのか。 2. 『新聞係』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考える。 【問題を見つめる】 ○新聞係の問題点はどこにあるか、考えて発表しましょう。 【かいつまむ方法を考える①】 ○新聞係の目的はなんですか。 【かいつまむ方法を考える②】 ○新聞係のみんなは、どうして問題を解決することができたのでしょうか。 【かいつまむ方法を考える③】 ○どのようなきまりを守れば、みんなに喜ばれる新聞ができるか、考えて話し合います。 【考えたことを生かす】 ○今日学んだことは、学校生活のどのような場面で生かすことができそうですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *きまりを守ることに対する考えを深め、きまりを守ることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	国語、学級活動、係活動、情報モラル教育
【コラム】 じょうほうを発信するときには	—	『新聞係』で学習したことを踏まえて、情報を発信する際に守らなければならないきまりについて理解させる。	—			
7月②	ユニット：いじめをなくす					
	8 「えがおいっぱい」 「楽しいクラスをつくる」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	あおいのクラスの「えがおいっぱいせんげん」について話し合うこととおして、笑顔がいっぱいのクラスのよさに気づき、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくらうとする心情を育てる。	1. 楽しいクラスについて考える。 ○クラスが楽しいと思えるのは、どんなときですか。 2. 『えがおいっぱい』を読んで、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○休み時間に、けんかをやる男の子たちや、こそそおしゃべりする女の子たちを見て、あおいはどのようなことを思っていたのか、考えて話し合います。 ★あおいは学級会で、どのようなことを思いながら「えがおいっぱい」になっていないと思えますか。と言ったのでしょうか。 3. みんなで協力し合って楽しいクラスをつくることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分たちのクラスのよいところはどのようなところですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○自分たちのクラスを「笑顔いっぱいクラス」にするためにはどうすればよいか、考えてみましょう。また、みんなで意見を出し合って、書き出してきましょう。	【多面的・多角的に考える】 *笑顔がいっぱいのクラスのよさに気づき、みんなで協力し合って楽しくクラスや学校をつくっていくことについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *楽しいクラスや学校をみんなで協力し合ってつくっていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	学級活動
	9 エプロン 「自分のよさに気づき、のびす」 【A 個性の伸長】	1	いつきが自分の特技に気づけたことについて考えることとおして、自分の長所を伸ばすことの大切さに気づき、長所を伸ばしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の長所について考える。 ○みんなのよさは、なんだと思いますか。 2. 『エプロン』を読んで、自分のよさに気づき、長所を伸ばすことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○はるとは「気に入ることよ。」と言われたあと、いつきはどのようなことを考えていたのでしょうか。 ★はるとは「ケーキ作りやエプロンのことを話しているとき、いつきはどのような気持ちだったか、考えを発表しよう。 3. 長所を伸ばすことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○おばあちゃんの画面に映る笑顔のいつきは、どのようなことを考えていたのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の長所を伸ばすことの大切さに気づき、長所を伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *自分の特徴に気づき、長所を伸ばすことの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	体育
10 気づく心 「相手の立場になって」 【B 親切、思いやり】	1	お母さんを助けたあとのあつしの気持ちについて話し合うこととおして、困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、思いやりのある行動をしようとする心情を育てる。	1. 相手の立場になることについて考える。 ○思いやりのある親切な行動について考えてみましょう。 2. 『気づく心』を読んで、すすんで親切にすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○あつしは「いいんだ。ぼくはあとから追いつけるよ。みんなは先に行ってる。」と言いました。あつしはどのようにしてこのような行動をとったのでしょうか。 ★あつしは店に向かっていたとき、どのようなことを思っていたのでしょうか。 3. すすんで親切にすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○どのような心が、親切な行動を生み出すのでしょうか。考えて話し合います。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、相手の気持ちを自分のこととして想像することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *親切にすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	総合的な学習	
9月③	ユニット：いじめをなくす					
	11 おそろしいゲームいぞん 「けんこうに気をつけて生活する」 【A 節度、節制】	1	ともあきさんが生活を整えることができた理由について話し合うこととおして、自分の生活を整えることのよさや難しさに対する考えを深め、安全に気をつけ、節度のある生活をしようとする心情を育てる。	1. 規則正しい生活について考える。 ○生活を整えることのよさはなんですか。 2. 『おそろしいゲームいぞん』を読んで、健康に気をつけて規則正しく生活することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ともあきさんの生活のどのようなところが問題だったのでしょうか。考えを発表しよう。 ★ゲーム依存になっていたともあきは、生活を整えることができた。生活を整えながら、ともあきはどのようなことを思っていたのでしょうか。 3. 規則正しく生活することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○ともあきから学んだことで、自分の生活に生かしたいことは何か、自分の考えをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○自分だったら、ゲーム依存にならないためにどのようなことに気をつけるか、考えてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *規則正しく生活することの大切さに気づき、自分の生活を整えることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *自分の生活を振り返り、自分から生活を整えて、自律していかうとするためのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。	—

学習月	教材名 「主眼名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	12 悪いのはわたしじゃない 「あやまちをみとめてすなおに」 【A 正直、誠実】	1	なおたちがれなにしたことの問題点について話し合うこととおして、正直に明るい心で生活することの大切さに気づき、過ちは素直に改め、誠実な態度で接しようとする心情を育てる。	1. 正直に明るい心で生活することについて考える。 ○自分の気持ちに正直に行動できなかったことはありますか。 2. 『悪いのはわたしじゃない』を読んで、まちがった行動をとってしまったときに、それを認め、改めることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○一人でぼつんと立っているれなの姿を見て、「わたし」はどのようなことを思ったのでしょうか。考えて話し合おう。 ★先生の話を聞きながら涙を流した「わたし」は、このあとどうするといひでしょう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみよう。 3. 過ちは素直に改め、誠実な態度で接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○このお話のようにならないようにするために、自分にできることはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 過ちを素直に改めることの大切さに気づき、誠実な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 過ちは素直に改め、誠実な態度で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動
	13 仲間だから 「友達のためにできること」 【B 友情、信頼】 【問題解決する】	1	たくやさんの気持ちとゆいの思いについて話し合うこととおして、本当の友達に対する考えを深め、友達と理解し合い助け合おうとする心情を育てる。	1. 友達について考える。 ○仲間とはどのようなものか。 2. 『仲間だから』を読んで、友達と互いに理解し、助け合うことの大切さについて考える。 【問題を見つめる】 ○たくやさんたちの班の問題だと思えるところはどこか。 【かみけつ方法を考える①】 ○たくやさんたちの班のみんなは、どうすればいい仲間になれるでしょうか。 【かみけつ方法を考える②】 ○自分だったら、どうやって解決しますか。 【考えたことを生かす】 ○たくやさんたちがいい仲間になったら、どのようなクラスになると思えますか。発表しましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 本当の友達とは何かに対する考えを深め、友達と信頼し、助け合っていくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 本当の友達になるために大切なことを理解し、友達と信頼し、助け合っていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動
	【コラム】 いじめて何？	—	『悪いのはわたしじゃない』や『仲間だから』で学習したことを踏まえて、いじめにつながるさまざまな行動を理解し、自分の周りにいじめがないか考えさせる。			
10月④	14 何がいないのかな 「真心をもって」 【B 礼儀】 【モラルスキル】	1	まなみさんの行動について体験的に学ぶこととおして、相手の立場や気持ちに応じて接することの大切さに気づき、丁寧な言葉づかいで真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 真心について考える。 ○真心とは、どのような「心」でしょうか。 2. 役割演技をとおして、真心をもって接することの大切さについて考える。 ○店員さんは、話しかけられたとき、どう思ったでしょう。 ○まなみさんは、どう言えばよかったのでしょうか。話し合ってみよう。 ○お客さんは、話しかけられたとき、どう思ったでしょう。 ○まなみさんは、どう言えばよかったのでしょうか。話し合ってみよう。 3. 真心をもって接することの大切さについて確かめる。 ★みんなが気持ちよく生活するためには、どのような言葉を使えばいいでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 相手の立場や気持ちに応じて接することの大切さに気づき、丁寧な言葉づかいで周りの人に接することについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 丁寧な言葉づかいで、真心をこめて接することについて、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができるか。	国語、社会
	15 楽しいばすきになる 「努力は楽しんで」 【A 希望と勇氣、努力と強い意志】	1	漢字練習に対するこうした姿勢が変化したことについて話し合うこととおして、苦しいことも楽しんで取り組むことよきに気づき、目標に向かってやりぬこうとする実践意欲や態度を育てる。	1. 努力するということについて考える。 ○嫌なことを後回しにしていますか。どうしたら気持ちよくできるでしょうか。 2. 『楽しいばすきになる』を読んで、嫌いなことも楽しみながら努力することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○こうたは、ただしの話の何に感心したのでしょうか。 ★どうしてこうたは変わったのでしょうか。理由を話し合おう。 3. 嫌いなことも目標をもって楽しみながら努力することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○苦しいこともできるようになるにはどうしたらよいか、考えよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 嫌いなことも楽しんで取り組むことよきに気づき、努力することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 目標をもって努力し続けることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、家庭学習
	16 ドッジボール大会 「男女で分けへだてをせずに」 【C 公正、公平、社会正義】	1	しゅうへいのしたことの問題点について話し合うこととおして、偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接しようとする心情を育てる。	1. 公正・公平な態度について考える。 ○きめつけのないことよきを考えよう。 2. 『ドッジボール大会』を読んで、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○女子が弱いときめつけたとき、しゅうへいほどのことを思っていたのでしょうか。 ★しゅうへいが、「ぼくがまちがっていた。」と言ったのはどうしてでしょうか。考えて話し合おう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみよう。 3. 公正・公平な態度で接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○きめつけをしないことよきについて、自分の考えをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 勝手なきめつけをしないことの大切さに気づき、偏見をもたないで、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 誰に対しても偏見をもたず公正・公平な態度で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	体育、学校行事
11月④	17 どうしよう…… 「明るい心で正直に」 【A 正直、誠実】	1	「わたし」が、中村先生に正直に話すかどうか葛藤する様子について考えることとおして、正直であることについての理解を深め、過ちを素直に反省し、正直に伝えようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 過ちについて考える。 ○失敗をしてしまったことはありますか。そのときのことを思い出してみよう。 2. 『どうしよう……』を読んで、正直であることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」の頭の中では、いろいろな考えがぐるぐる回っていました。どのような考えだったのでしょうか。考えを発表しよう。 【やってみよう】 ○「わたし」は、中村先生に正直に話してどう感じたでしょうか。 ★「わたし」は、中村先生にどのように話したでしょうか。また、中村先生は「わたし」に何と言ったのでしょうか。 3. 過ちを素直に反省し、正直に伝えることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正直な行動ができたときできなかったときの気持ちは、どのように違うでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正直であることの大切さに気づき、正直であるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 過ちを素直に反省し、正直に伝えることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	総合的な学習
	18 わたしの妹、加奈 「家族みんなで協力し合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	加奈に対する由衣の思いの変化について話し合うこととおして、家族で支え合うことよきに気づき、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○家族のために、どんなことをしていますか。 2. 『わたしの妹、加奈』を読んで、家族と協力して楽しい家庭をつくることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○加奈の体を押して、お母さんに叱られたあと、おばあちゃんの話聞きながら、「わたし」はどのようなことを思ったでしょうか。 ★「わたし」は、変わりました。何が「わたし」を変えたのでしょうか。考えて話し合おう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみよう。 3. 家族と協力して楽しい家庭をつくることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○家族のよきを感じたことはありますか。家族のよきをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族で支え合うことよきに気づき、家族を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	19 よわむし太郎 「正しいと思ったことを行う」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	太郎の考えと行動について話し合うこととおして、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。	1. 正しいと思うことについて考える。 ○「よわむし」とは、どのような人のことをいいますか。 2. 『よわむし太郎』を読んで、正しいと判断したことを行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○立ちがだかっていた太郎をにらんでいた殿様は、白い大きな鳥を捕らないことにしたのは、どうしてでしょうか。 【やってみよう】 ○演じてみて、感じたことや考えたことを発表してみよう。 ★太郎は、本当に「よわむし太郎」なのでしょうか。みんなで話し合おう。 3. 正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正しいと思えたことよき人とはどのような人なのでしょうか。自分の考えをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正しいと思ったことは自信をもって行うことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 正しいと思ったことをすることよきについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
12月③	20 ぴっかぴか 「みんなのためにはたらくとは」 【C 勤労、公共の精神】	1	「わたし」が変わった理由について話し合うこととおして、働くことの大切さに気づき、自分のできる仕事を見つけて、すすんでみんなのために働くこととする実践意欲と態度を育てる。	1. 働くということについて考える。 ○任された当番の仕事をするときには、どのような気持ちが必要でしょう。 2. 『ぴっかぴか』を読んで、みんなのために働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○5年生に注意されたとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。 ★今までの「わたし」と、これからの「わたし」は、どこが違うでしょう。また、なぜ変わったのでしょうか。 3. みんなのために働くことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○任された仕事は、どのように取り組んでいくといいでしょう。考えて話し合ってみよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○これから係や当番の仕事をするとき、どのように取り組んでいきたいか、考えてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *みんなのためにすすんで働くことよき気づき、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *働くことの意味を理解し、積極的に働くことよきについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動、清掃活動
	21 なんとってつたえる？ 「気持ちをつたえよう」 【B 相互理解、寛容】 【問題解決する】	1	みかさんのこれからの行動について考えることとおして、意見を伝えるときに大切なことに気づき、自分の意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。	1. 気持ちの伝え方について考える。 ○友達に言いづらいことには、どのようなことがありますか。 2. 『なんとってつたえる？』を読んで、意見を伝えるときに大切なことについて考える。 【問題を見つめる】 ○みかさんが、自分の意見をなかなか言い出せないのはどうしてでしょう。 【かいつ方法を考える①】 ○自分の考えと違う意見が出たとき、あなたならどうしますか。 【かいつ方法を考える②】 ○どのように話せば、みんなに嫌な思いをさせずに、気持ちを伝えることができるでしょう。 【考えたことを生かす】 ○このお話で学んだことを、これからの生活のどんな場面でも生かそうと思いませんか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *意見を伝えるときに大切なことに気づき、相手の理解を得られるような思いの伝え方について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *相手の理解を得られるような思いの伝え方について、自分との関わりで考えることができるか。	—
	（コラム） ◆相手に気持ちを伝えるには		『なんとってつたえる？』で学習したことを踏まえて、自分の気持ちを相手に伝えるときに、大切なことについて理解させる。			—
1月③	22 おにのかんたのゆめあんない 「家族で協力し合って」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	家族で協力し合って暮らしているめぐみやひろゆきの様子について考えることとおして、自分が家族の一員であることに気づき、積極的に協力し合って楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。	1. 協力するということについて考える。 ○協力するとは、どういうことでしょうか。 2. 『おにのかんたのゆめあんない』を読んで、家族で協力し合って楽しい家庭をつくることについて考える。 【考えよう】 ○おにのかんたは、夢の中で見た家族の素敵なところはどこですか。考えを發表しましょう。 ★おにのかんたは、どうして「これからは家族のためにがんばろう。」と思ったのでしょうか。 3. 家族で協力し合うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○あなたは、家族のためにどのようなことをがんばりたいですか。それはどうしてですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族で協力し合うことの大切さに気づき、自分が家族のためにどのようなことができるかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *楽しい家庭をつくることよき気づき、それぞれができることについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	23 金色の魚 「節度を守って」 【A 節度、節制】 【問題解決する】	1	次々と欲張ってしまった結果、最後には元に戻ってしまった話をおして、節度を守ることの大切さについて理解を深め、節度のある生活をしようとする心情を育てる。	1. 節度について考える。 ○欲張って、失敗したことはありますか。 2. 『金色の魚』を読んで、節度を守ることの大切さについて考える。 【問題を見つめる】 ○この教材の中で、問題なのはどのようなことか、考えて話し合ってみよう。 【かいつ方法を考える①】 ○自分がおじいさんだったらどうしますか。 【かいつ方法を考える②】 ○自分がおばあさんだったらどうしますか。 【考えたことを生かす】 ○この教材から何を学びましたか。また、自分の生活に生かせることはどのようなことですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *節度を守ることの大切さに気づき、わがままをせずに生活していくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *節度を守って生活することの大切さを理解し、どのような心がけが必要か、自分との関わりで考えることができるか。	—
	24 光祐くんのアサガオ 「命を受けついで」 【D 生命の尊さ】	1	光祐君の生き方やお母さんの思いについて話し合うこととおして、命を受け継いでいくことのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○命の大切さについて考えてみましょう。 2. 『光祐くんのアサガオ』を読んで、一生涯命を生きることのすばらしさについて考える。 【考えよう】 ○光祐君は、どうして50メートル走に出たいと思ったのでしょうか。 ★お母さんは、どうしてアサガオを育て続けたのでしょうか。考えて話し合ってみよう。 3. 一生涯命を生きることのすばらしさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○光祐君のアサガオに名前をつけるとしたら、どのような名前をつけますか。考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *命を受け継いでいくことのすばらしさに気づき、命が尊いものであることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *命を受け継いでいくことのすばらしさを理解し、かけがえのない自他の命について、自分との関わりで考えることができるか。	国語、理科
2月④	25 ひと言の勇気 「正しいことは自信をもって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	としみちの考えと行動について話し合うこととおして、正しいと思ったことを実行することよきや難しさに対する考えを深め、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。	1. 勇気について考える。 ○勇気を出して、何か言ったことはありますか。 2. 『ひと言の勇気』を読んで、正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○としみちは、上手にラジコンカーを走らせるたけしさんを見ながら、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★としみちは、どうしてたけしさんに「やめなよ！」と言ったのでしょうか。 3. 正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○やりたいことが正しいことではないと思ったとき、どうしたらいいと思いませんか。考えて話し合ってみよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *正しいと思ったことを実行することよきや難しさに気づき、正しい行動をとることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *正しいと思ったことをするために大切なことについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	26 花さき山 「美しい心」 【D 感動、畏敬の念】	1	花さき山に花を咲かせたあやの心について話し合うこととおして、美しい心に対する考えを深め、美しいものに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	1. 美しさについて考える。 ○「美しい」と感じたことはありますか。 2. 『花さき山』を読んで、美しいものに感動する気持ちについて考える。 【考えよう】 ○自分が咲かせた花のことを山に教えてもらったあやは、どのようなことを思ったのでしょうか。 ★「つらいのをしんぼうして、……さきだすのだ。」という山に言葉から、どのようなことが大切だと思えるか、みんなで話し合ってみよう。 3. 美しいものに感動することよきについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○お話ではたらくさんの人々が花を咲かせましたが、学校やクラスや家で、自分が咲かせた花があったら、紹介しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *美しいものに対する考えを深め、美しいものに感動する気持ちについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *美しいものに感動することよきについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
	27 手伝う心 「こまっている人のために」 【B 親切、思いやり】 【モラルスキル】	1	ひろみさんを見守る「わたし」の行動について体験的に学ぶこととおして、「わたし」とひろみさんの気持ちを理解し、相手の状況や気持ちを考え、行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 助けるということについて考える。 ○困っている人がいたら、どうしていますか。 2. 役割演技をとおして、相手のことを思いやることの大切さについて考える。 ○「わたし」とひろみさんの役を演じてみましょう。 ○ひろみさんが断る場面を演じてみましょう。 ○「わたし」を演じてみましょう。 3. 相手のことを思いやることの大切さについて確かめる。 ★相手のことを思いやって行動するとは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *親切にすることについて理解を深め、相手のことを考えた行動について、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *相手のことを考えた行動について理解を深め、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができるか。	総合的な学習、福祉教育
28 タンタンゴはハババふたり 「すてきな動物たち」 【D 自然愛護】	1	ロイとシロの行動と、それを見守るグラムジーさんの行いをおして、動物に親しみ、動物を愛護しようとする心情を育てる。	1. 動物について考える。 ○身のまわりで、かわいがる動物はいますか。 2. 『タンタンゴはハババふたり』を読んで、動物に親しむことよきについて考える。 【考えよう】 ○石を温め続けるロイとシロを見て、グラムジーさんはどのようなことを考えていたのでしょうか。考えて話し合ってみよう。 ★グラムジーさんは、どのような思いから、ロイとシロの巣に卵を運んだのでしょうか。 3. 動物を愛護することよきについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○身近な動物のことで、「すごい」「不思議だな」と思ったことはありますか。どうしてそう思ったのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *動物に親しむことに対して理解を深め、動物を愛護することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分たちを取り巻く自然環境を大切にしたり、動物を愛護したりすることよきを理解し、自分との関わりで考えることができるか。	理科	

学習月	教材名 「主眼名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
3月②	29 公園のひみつ 「ささえてくれている人へのかんしゃ」 【B 感謝】	1	おじいちゃんへの「わたし」の感謝の気持ちについて話し合うこととおして、身近な人々が生活を支えてくれていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもち、接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分ごとを支えてくれている人について考える。 ○みんなの生活を支えてくれている人には、どのような人がいるでしょう。 2. 『公園のひみつ』を読んで、生活を支えてくれている人に感謝することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○おじいちゃんのお手伝いをしながら、「わたし」はどのようなことを考えていたでしょう。 ★「わたし」が、心の中でつぶやいた「ありがとう」には、どのような気持ちがこめられているのか、考えて話し合おう。 3. 生活を支えてくれている人に感謝することの大切さについて、自分ごととして考える。 【深めよう】 ○自分の生活を支えてくれている人には、どのような人がいますか。発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○自分の生活を支えてくれている人に、何を伝えたいですか。	【多面的・多角的に考える】 *身近な人々が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、自分たちの生活を支えてくれているさまざまな人々への感謝の気持ちについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *自分たちの生活を支えてくれている人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	総合的な学習、ボランティア活動
	30 自分たちにできること 「いろいろな国に好奇心を」 【C 国際理解、国際親善】	1	ゆうきがSDGsをきっかけに、他国の取り組みや文化に関心をもった理由について話し合うこととおして、日本と他国とで違いがあることに気づき、他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。	1. 他国のことについて考える。 ○世界にはいろいろな国がありますね。どんな国を知っていますか。 2. 『自分たちにできること』を読んで、他国の文化に関心をもつことの大げささについて考える。 【考えよう】 ○SDGsのポスターを見て、ゆうきは、どのようなことを思ったでしょう。 ★どうしてゆうきは、フリピンや日本、その他の国での取り組みを調べようと思ったのでしょうか。考えを発表しよう。 3. 他国の文化に関心をもつことの大げささについて、自分ごととして考える。 【深めよう】 ○SDGsの目標を調べて、自分たちにできることを考えよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *SDGsをきっかけに他国の取り組みについて知ること、他国の文化に関心をもち、日本と他国とで違いがあることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *他国では、その特徴やよさを生かしてSDGsに取り組んでいることに気づき、日本ではどのような特徴を生かして、何ができるかについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、国際理解教育
適時	31 心こもった給食 「かんしゃの気持ち」 【B 感謝】	1	宇佐美さんの思いについて話し合うこととおして、自分の生活がさまざまな人々に支えられていることに気づき、感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	1. 給食について考える。 ○みんなさん給食は好きですか。給食は誰が作ってくれているか、知っていますか。 2. 『心こもった給食』を読んで、自分たちの生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもつことの大げささについて考える。 【考えよう】 ○宇佐美さんは、どのようなことを考えながら小松菜を作っているのでしょうか。 ★「ごちそうさま。」には、どのような意味がこめられているのでしょうか。 3. 生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもつことについて、自分ごととして考える。 【深めよう】 ○今日の授業で、自分が考えたことや感じたことをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *さまざまな人々が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、日常生活において他者が自分のためにしてくれていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *他者に感謝することの大げささについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動、食育
適時	32 お祭りにこめられている思い 「ちいきにたつた文化を大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	二つのお祭りにこめられている思いについて話し合うこととおして、地域で大切にされている行事のよさに気づき、国や地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域の行事について考える。 ○みんなは、町のどのようなお祭りに参加したことがありますか。 2. 『お祭りにこめられている思い』を読んで、郷土の文化を大切にすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○昔の人たちは、どうして「のぼり祭り」や「本郷しもみ行事」を始めたのでしょうか。★なぜ、「のぼり会」の会長さんは、その町のお祭りを大切にしたいと思っているのか、考えて話し合おう。 3. 郷土の文化を大切にすることのよさについて、自分ごととして考える。 【深めよう】 ○自分たちが住んでいる地域のお祭りや行事について調べよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *国や地域で大切にされている行事のよさに気づき、地域の伝統や文化を大切に、伝えていきたいという人々の願いについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *国や地域の一端であることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、伝統文化教育、地域行事
適時	33 つなみてでんこ —走れ、上へ— 「命を守る」 【D 生命の尊厳】	1	東日本大震災で被災したときの「ぼく」や周りの人の、行動や気持ちについて話し合うこととおして、命を守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○もしも大きな地震が起きたら、命を守るために何ができるとおもいますか。 2. 『つなみてでんこ』を読んで、命を守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【考えよう】 ○地震が起きて、津波が迫ってきたとき、「ぼく」はどのようなことを思ったでしょう。 ★二日ぶりに父さんと会ったとき、「ぼく」はどのような気持ちだったでしょう。考えを発表しよう。 3. 命を守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【深めよう】 ○「命さえあれば、これならなんでもできるものな。」というおじいちゃんの言葉について、あなたはどのようなことを考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *命を守ることに気づき、命を守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *命を守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。	理科、総合的な学習、防災教育
適時	34 音のこうずい 「きまりを守って」 【C 規則の尊重】	1	電車でのマナーについて話し合うこととおして、社会のきまりの意義に対する考えを深め、きまりを守って生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 公共の場でのマナーについて考える。 ○たくさんの人がいる場所では、どのようなことに気をつけていますか。 2. 『音のこうずい』を読んで、社会のきまりを守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【考えよう】 ○電車に乗っている人々を見て、「ぼく」はどのようなことを考えていたでしょう。 ★悪いのは誰でしょう。そして、それはどうしてでしょう。考えて話し合おう。 3. きまりを守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【深めよう】 ○電車のほかにも、みんなのことを考えなくてはならない場所がありますか。また、それはどうしてですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *社会のきまりに対する理解を深め、人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【自分ごととして考える】 *人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。	—
適時	35 昔からの味をつたえる野菜 「文化をつたえる」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	伝統野菜を守る取り組みについて話し合うこととおして、国や地域の伝統や文化を守り伝えることに気づき、国や地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域の伝統料理や特産品について考える。 ○自分たちの地域の食べ物にはどのようなものがありますか。 2. 『昔からの味をつたえる野菜』を読んで、地域の伝統や文化を守り、伝えていくことに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【考えよう】 ○子どもたちが、いつのまにか「吹田くわい」を好きになっていくのはなぜか、考えを発表しよう。 ★なぜ、「ほぞん会」の人々は、伝統野菜を守り、伝えようとしているのでしょうか。 3. 地域の伝統や文化を守り、伝えていくことに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。 【深めよう】 ○自分たちが住んでいる地域では、どのような伝統野菜や郷土料理があるか、調べよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *国や地域の伝統や文化を守り伝えていくことに気づき、伝統や文化を大切に、先人の努力を引き継ぐことに気づき、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *国や地域の伝統や文化を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、伝統文化教育
適時	【しりょう】 おたがいの考え・意見をりかいし合う 【B 相互理解、寛容】	—	気持ちのいいコミュニケーションのとり方を知ることとおして、自分の気持ちを正しく伝えたり、相手のことを理解したりすることの大切さに気づき、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーション力を高め、実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 *自他の考えや意見の伝え方について、多くの考え方にふれ、他者の理解を得られるような思いの伝え方について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分ごととして考える】 *日常生活のさまざまな場面でコミュニケーション力を高め、相手の理解を得られるような思いの伝え方を自分との関わりで考えることができるか。	—	
適時	学習をふり返ろう	—	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	*心に残った話(教材)とそれを選んだ理由をまとめることができるか。 *一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	—	